

事務事業名	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2012- 999029				
	□ 実施計画事業		所属課室	みどり自然課	課長名	杉山 啓子				
			所属担当	森と自然の保全担当	担当者名	高畑 英司				
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		07 農林水産業の振興		01	一般	06	01	03	030	10
施策		12 生産を支える基盤の整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H24 ~ H26 年度)		法令根拠							
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 環境省の新規モデル事業として、山梨県が委任を受け、南アルプス市楡形地区がモデル地域に選定された。ニホンジカの植生環境被害及び農業被害の恒常化に伴い地域住民や農業従事者がわな免許を取得する機会を創出し、ニホンジカの適正個体数維持に努める。 内容:モデル地区内ニホンジカ生息状況、被害状況調査、わな捕獲研修、事業成果発表会等			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 旅費 消耗品費 食糧費 その他保険料 計 0						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 曲輪田区捕獲班の編成及び捕獲活動の実施、事業成果発表会での報告。 27年度活動予定 曲輪田区捕獲班の捕獲活動の実施、平岡区捕獲班編成及び捕獲活動の実施。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 捕獲班の編成 班 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	狩猟者の減少、高齢化している現状を踏まえ、「狩猟免許を有しない従事者容認事業」を活用して、わな捕獲従事者を確保する。	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア わな捕獲従事者 人 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	農業被害を防除するため、わな捕獲を推進できるようにわな捕獲従事者を増やすこと。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア わな捕獲従事者 人 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民アンケート調査「市内の農業は活性化していると思う」の満足度を上げる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 市内の農業は活性化している満足度 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円					150			
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,366	2,007	43	346				
		事業費計(A)	千円	1,366	2,007	43	496	0		0	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人								
		延べ業務時間	時間								
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	1,366	2,007	43	496	0	0	0	
活動指標	ア イ ウ	班		1.0	1.0	2.0	2.0				
対象指標	ア イ ウ	人		8.0	8.0	16.0	16.0				
成果指標	ア イ ウ	人		8.0	8.0	16.0	16.0				
上位成果指標	ア イ	%		24.5	27.5	26.0	27.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成24年度に環境省から山梨県へ委任された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	平成24年度に開示された新規事業である。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	ニホンジカの個体数を減少させる。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	24年度新規事業であり、過去の実績実務が存在しない。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	地域の皆様を中心とした捕獲活動を実施するため、捕獲班を編成するとともに、わなによる捕獲を実施した。

事務事業名	地域ぐるみの捕獲推進モデル事業	所属部	農林商工部	所属課	みどり自然課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 急増する野生動物の食害被害を個体数調整により減少させるので、目的に合致している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 現時点では、市が中心となり、地域の担い手を養成し、活動するための環境づくりを整えるので、市で行う必要性が高い。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 26年度までのモデル事業で年次計画に基づき実施しているので、26年度までの維持・継続は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 捕獲班が充実すれば、より効率的な捕獲が可能になり成果の向上に繋がる。一方、捕獲した野生鳥獣の処分方法が課題となっている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 有害鳥獣被害対策事業との連携が可能であり、効果的に予算をつかうことができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ニホンジカがさらに増加し、被害が広がる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ニホンジカがさらに増加し、被害が広がる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 協議会の運営支援委託料については、削減することが可能である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費については、調査及びその解析に必要である。調査成果により、人件費は削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域住民の要望に対して公平、公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	鳥獣被害対策事業は、地域の実情に合わせて、地域全体で進めることが必要である。捕獲に携わらない住民も、鳥獣被害に関係しない住民にも理解を求め、地域の課題として認識し、協力や支援を求めていくことが必要であり、この事業の課題である。見直しや検討を繰り返しながら成果の向上を図っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					